

KANAGAWA

11

November , 2024
vol. 453

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



Contents

特集『わが恩師を語る・・・黒沢 隆』	01
建築探訪(北欧アルヴァ・アアルトを再び追いかけて)	03
特集 神奈川の残しておきたい建築	05
委員会活動報告	
(重要文化財光明寺本堂 建造物保存修理現場を訪れて)	07
(スポーツ大会報告)	08
賛助会だより	09
支部のページ(座間支部・藤沢支部)	11
建築会議	13
編集者のつぶやき(第46回建築士事務所全国大会「未来を拓くまち・ひと・建築」)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

特集 わが恩師を語る・・・黒沢 隆

平塚支部

個室群住居、崩壊する近代家族と建築的課題、 翳りゆく近代建築・・・黒沢隆

建築家、黒沢隆とは、日本大学理工学部建築学科2年生、近代建築史の授業が出会いです。当時、東孝光・宮脇檀などの作家的建築家と並び、評論等、建築界論壇の中心にいた。超人気の授業では、他大学の学生も潜り込んで聴講していて、建築界の論客をまじかに感じていた。従い、卒業研究の4年次は、卒研生が取り合いの人気研究室、競争率厳しい中、幸いにも卒研でもお世話なることができました。研究室は学生論客の集まりで先生を囲み学び、論議する事で生涯至る友と建築感性の基本が形成された。当時、先生は恵比寿にアトリエを構えていて課外授業ではないがよくお邪魔した。時には、その流れで先生設計の六本木キャットシャノンで建築談義、この時代に建築設計のさまざまな要素が身に着いた気がする。各建築雑誌、建築論壇では、常時にぎやかしていましたが教育者としての黒沢隆は、私が語るのもおこがましいが、真に魅力の理想的教育者でした。常に学生をひきつけ、それぞれに合わせた確かな助言をさりげなく自然に誘う。まるで年長の兄が、兄弟姉妹を面倒みる家族的な関係性の中、黒沢スクール（派）の皆は、先生のことを黒さんと呼び、兄事し和気藹々の中、建築を学ぶ活力に満ちていた。先生の周辺には、多方面の多士済々の人が集まりその話についていくために自然と多くの事を学ぶ必然の中、生涯で最も濃い密度の時間を過ごした。教えは逐次、本になり近代住居の再考の試み「住宅の逆説」「生活編」「匠編」から「建築家の休日」「陰りゆく近代建築」等々、日常の先生のレクチャーが次々と出版になる時空の中心にいた。先生は、個室群住居論、吉田五十八論、数寄屋に関する考察、近代という歴史観など数々の建築論を発表していった。書籍、評論も多数、授業以外での学習素材も沢山いただいた。日常の学習生活全体で建築を吸収し建築を創造し構築する術の全ての手法を得た気がする。鎌倉の御自宅も日々学生で溢れていた。そこでは、文化論として哲学から芸術まで、ある時は、ソシユールの構造言語学（シニフィアンとシニフィエ）から荒井由美の

全農かながわ一級建築士事務所 田中 正幸

音楽世界、その詩の分析まで語りながら一連の建築論を多方面から語る知的遊戯に夢中に引き付けられた記憶がある。学生入り浸りの鎌倉の御自宅の書斎には、渉猟の書籍が山住、知的情報に溢れ、質問に際しては、これ読んだらいいとか言われ借用したものだ。先生の作品、評論他は、広く触れることができるが、先生と生徒の関係は、それぞれに固有のものです。多くの生徒がそれぞれに合わせた多大な影響を受けたと思う。当時、先生は、住宅等建築が完成すると必ず学生等にお披露目のオープンパーティを開催してくれました。授業とは違う実践を体感する機会は、建築学習に役立ったことは当然ですが、大変楽しい体験を沢山いただいた。「普通の家」と言いながら品格のある建築化されたセンス、洗練された奥の深いデザインで構築され、家具から照明器具等各デザイン等まで多方面にわたりました。各Detailを食い入るように観察しました。どれもそこにいるだけで居心地の良い固有の空間を形成していた。個人住宅（ホシカワ・キュービクル）や集合住宅（コワン・キ・ソヌ）など「個室群住居」理論の作品は、建築史建築論研究室（小林文次研究室）に所属していた先生の4つ後輩の山本理顯さんにも影響与え「岡山の住宅」「熊本県営保田窪第一団地」の実作に繋がる。また、妹島和世「岐阜県営住宅」実作など多くの建築家に影響を与えた。正に思考は先行していた。過去半世紀経過し現代は、個室群住居に近かずにきている。建築デザインは、分節（アーティクレーション）を意識すること、Rは、きちんと造形が認識できるアルヴァ・アアルトみたいなRがいいとか、多くの建築感覚を細かく授かった。私の建築の思考の原点を形成するのに多大な存在として生きています。卒業してしばらくは、正月とか時あるごとに自身の作品設計図、竣工写真を持参し評論をいただいた。2014年3月15日、72歳で亡くなられた。建築の外、もっと話、聞きたいことたくさんあったのに、無念な気持ちが込み上げます。



ゼミ卒業の記念品贈呈にて

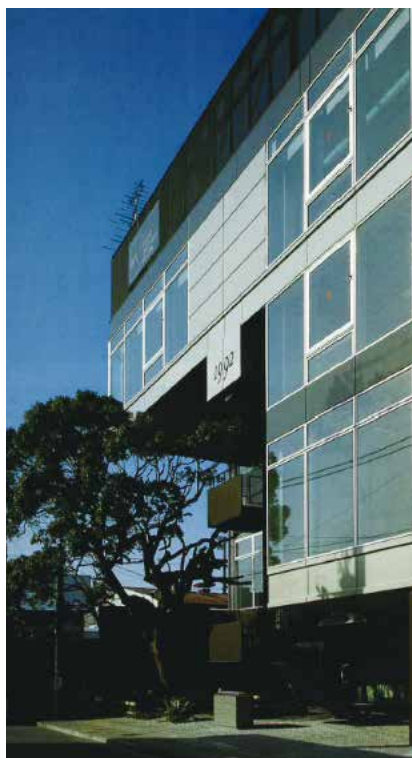
代表書籍

「建築家の休日」
「続、建築家の休日」
「集合住宅原論の試み」
「個室の計画学」
「住宅の逆説」
「翳りゆく近代建築」
「個室都住居」
「近代時代の中の住居」
「CONCEPTUAL 日本建築」

黒沢 隆

建築家、住宅作家、建築評論家

1941 東京都生まれ
1965 日本大学理工学部建築学科卒業
1971 同大学大学院博士課程修了
1985 東京大学生田勉研究室
1973 黒沢隆研究室設立
日本大学理工学部、日本大学芸術学部
日本大学生産工学部、芝浦工業大学
東海大学の非常勤講師を歴任



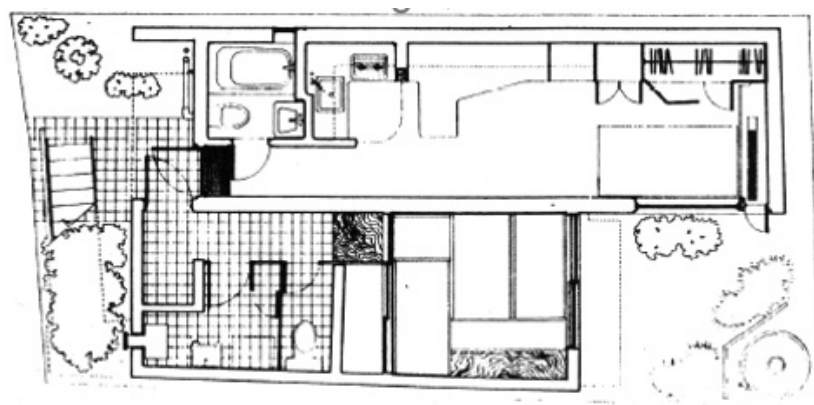
早見芸術学園1号館



Little Rock Village



アズフローラ



ホシカワキュービクル(1977年)

北欧アルヴァ・アアルトを再び追いかけて

(株)アーキテクトホンダ 芝 京子



20世紀を代表する建築家の一人、フィンランド生まれのアルヴァ・アアルト

建築だけでなく、照明器具・家具・ ガラス等、デザイナーとして活躍し、機能主義的なモダニズムの文化を継承した作品を多く生み出し、妻アイノと共に使う立場に寄り添う設計を貫きました。一級建築士の資格を頂き、まだまだ建築士とも言えない20代後半に、ヨーロッパを南から北、北から西と、建築を訪ねる旅に恵まれ、アアルトの建築に触れることができました。フィンランドに入って感じたのは空気の味でした。なぜか非常に感動したことをいまでも鮮明に覚えています。フィンランドの空気は澄み切り、水は美味しく、世界一だそうです。

パイミオのサナトリウム (1933)

結核患者の療養施設として使用された建物で、療養患者の心を少しでも和らげる工夫を様々施している。入口ロビー受付のガラスのデザインカラー、病室の扉、壁の色他、設備等に多くの工夫がされている。抗生物質の発見以前、照明、新鮮な空気、日光、衛生環境、休息が、結核の効果的な治療法だった事から、植物が病室に向くよう太陽に面して設計されており、病室の窓のデザインとカーテンの色等内装計画においてもアアルトとアイノの精神が凝縮されている。

3



アアルト自邸 (1936)

前面道路側ファサードには背を向けており、家の表の顔は庭側で、解放的で大変豊かな表情に富んでいる。1階はレンガ・ガラス 鉄筋コンクリート、2階は、木とガラス、建物と植物の微妙な絡み合いは、居心地の良い中庭を構成している。中庭の石畳は、日本の手法を彷彿とさせる敷き方で、心豊かな生活の場としてホッとする空間である。



セイナツァロの村役場 (1952)

前回訪問時、一番感激した作品である。松の木の緑に囲まれ、威風堂々とそそり立つ赤煉瓦ブロック外装は相変わらずの威厳を保っている。公的部分と商店を隔てているのは基礎工事で、掘り出された土が積まれ、道路より高くすることで空間を隔てている。中央広場は、シエナのカンポ広場のよう自然に人が集まる場所として考案された。使用されている煉瓦ブロックは20万個である。



内部の煉瓦壁につく手摺は、私の手をフォローしてくれるような良い使い心地です

ユヴァスキュラ大学 (1953)

学校の機能のみでなく、コンクリート会議棟は、市の知性のセンターとなっている。学校自身は大きくないが、6教室それぞれ階段の周りに集められている。食堂天井の梁の組み方と吹付の壁面は、天井の梁の繋がりを保つユニークな構造である。外壁はブロックタイルの上部にガラスで構成されている。



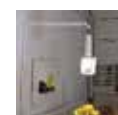
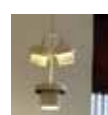
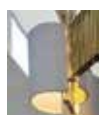
4

アアルト 夏の家 ムーラツァロの実験住宅 (1954)

ムーラツァロは、花崗岩の巨大な岩が隆起している土地で、湖のほとりに建てられている。自然の岩の上（基礎）に土台（丸太）を置く基礎構造。全くプライベートな建物で、数々のユニークな試みがなされている。白壁と赤煉瓦敷きの床で正方形の中庭を取り囲んでおり、この中庭が家族の憩いの場であろう。床の一角に1m角の囲炉裏のような火処が切られている。中庭の壁には、50種類以上のレンガやタイルで様々な使い方を試しており、実験住宅と呼ばれた。また、フィンランド伝統工法で丸太のサウナが建てられている。



アルヴァ・アアルト デザイン照明器具



特集 神奈川の残しておきたい建築

汐見台団地

横浜支部 株式会社A&A設計室 雨森 隆子



汐見台団地案内図



団地から海方面

1978年、私は、横浜の景色から住んでみたいと憧れ、それだけで横浜の住宅会社へ就職しました。新人研修で、中区山下町の会社近隣の住宅地や団地、現場等を案内されました。その時、広大な土地に点在する汐見台団地の建物のモダンさに驚きました。そこから海や富士山が見え、眺めが良く、隣棟間隔が広い団地です。その住環境は、緑が多く、隣接する久良岐公園もあり、若かった私でしたが、ここに住みたいと思った事を覚えています。その時から既に40年以上、横浜市民です。残念ながら、汐見台団地に住む事はありませんでした。とは言え、その時以来、私は、ずっと汐見台団地を眺めてきた様に思います。

汐見台団地近くの社宅に住み、汐見台団地は、通勤経路でした。結婚し、住まいを変えても汐見台近隣で、子育てをし、汐見台の病院を利用していました。汐見台の公園に行く事が多く、子ども達は、久良岐公園がお気に入り、そして今、孫たちも、大好きな公園になっています。

5

*歴史

汐見台団地は、根岸湾埋め立てに伴い、工場群の勤務者向けに開発されました。開発面積約75ヘクタール、昭和36年1月に「磯子団地」として起工式があり、翌年に「汐見台団地」に変更されています。

約16,000人が暮らす職住接近都市として県公社が開発。後世のモデルとなる理想的な団地造成を目指し、起伏にとんだ団地内には、無電柱化も取り入れられ、賃貸、分譲、企業の社宅、公務員住宅などタイプの異なる住宅が混在して建てられています。サンルーム、変形ボックス型住宅など特徴があり、魅力ある団地です。建築されてから60年以上、建て替えや改修がなされ、変わりつつありますが、まだ、当時の住宅があり、色あせる事なく、住み継がれています。



汐見台第1



汐見台第9

所在地：横浜市磯子区汐見台3-3他
竣工年：昭和38～45（1963～1970）年
設計者：県公社ほか
団地規模：約75ヘクタール
全体戸数：約3,300戸

（出展：かながわ昭和たてもの散歩より）

（一社）神奈川県建築士会発行



汐見台第16-1

鎌倉商工会議所

鎌倉支部 アトリエ空庵 中原 尚代



鎌倉駅西口時計台



鎌倉市役所



商工会議所全景



商工会議所入口

JR鎌倉駅西口改札を出て、時計塔を横目に市役所へ向かう

現在の鎌倉駅は昭和59年（1984年）竣工の3代目

大正5年（1916年）竣工の2代目中央の時計塔が西口広場に移設された

市役所の向かい側ある商工会議所はカーテンウォールとワッフルスラブで構成される近代の名建築
時計塔・市役所とともに鎌倉のまちなみを形成する大切な一塊である

竣工／昭和44年（1969年）

設計／早稲田大学武基雄計画研究室 施工／株式会社藤田組

構造形式／鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建、陸屋根

用途／文化施設

所在地／神奈川県鎌倉市

委員会活動報告

重要文化財光明寺本堂 建造物保存修理現場を訪れて

木造特別委員会 委員長 山中 信悟

6月25日木造特別委員会主催の見学会において光明寺の修理現場を拝見させていただきました。光明寺は鎌倉市材木座にあり寛元元年（1243）に創建された浄土宗の大本山です。

今回の見学会は修理における解体した状態を見ることができ傷んだ部分へどのように補修をしていくべきかなどの検討がこれから始まり完成まではまだ数年かかることを聞きとても長い道のりであるが貴重なものを残すための時間なのだと感じました。

梁一本取ってみても現在の様に人間が触りやすいように加工して使うのではなく自然のままの形を唯一無二として組み上げる人間が自然に合わせるという当たり前の建築が素晴らしい。その上で考え抜かれほどいても組み直しても使え続けられる技術にほれほれします。

個人的にも歴史のある古い建物を扱うことができますがずっと触れていたい、さらには触れる時間が終わってしまうのがさみしいとまで感じます。歴史的建造物にはそのような深みがあるのだろーと思います。

最近は伝統的工法を用いて建築を造ることも容易になってきてはいますが、その本筋がどこにあり、根底として支えるものは何であるかを一緒に参加していただいた方は感じていただけたのであろうか？ 寺社建築は現代工法の様に壁

により支えるのではなく太い柱、太い梁によって支えられます。これをデザインすると太く無粋に見えるのかもしれませんが実際には違います。では伝統のみを守ることが今の建築に必要なのか？それもまた違います。人の手により人が生きるよりも長く持つものを創り出すということにおいて受け入れられ残されていることが重要であると再実感させてもらえる架構でした。参加された他の方はどのように感じたでしょうか？残念ながら参加できなかった方も古き良き建築へ思いを馳せる日を持ってみてはいかがでしょうか？

木造特別委員会は見学会をはじめとして木造に関する多くの情報を発信してまいります。本年度はリクエストが多かった仕様規定の基本や伝統構法の設計方法、日々迫ると言われる震災に対応するための耐震診断講座などございます。一つでも興味があればぜひご参加ください



委員会活動報告

9/28 スポーツ大会 ～川崎ボウリング大会～

ブロック支部委員会 委員 岩田 崇

本年9月25日土曜日に川崎支部担当による秋の恒例スポーツ大会を開催致しました。

本年は天候にも左右されず誰もが年齢関係なく楽しめるスポーツと言うことでボウリング大会を行うこととしましたが、確かに若いメンバーが優位に立つのではなく逆にベテランメンバーの皆さんの活躍が目についた大会であったかと思えます。

そして見事優勝に輝いたのは相模原支部Aチーム、準優勝は前回覇者である賛助会さんのAチームでした。おめでとうございます！2ゲームではやや物足りないと思いますが、手軽でかつ適度な運動であることがポイントかと思えます。おかげさまで当日は怪我人もなく、各支部の交流を深めることが出来たかと思えます。



当日参加頂いたメンバーの皆様



優勝した相模原Aチームの皆様

大会後は、川崎の新名所チッタデラに移動して懇親会を開催しましたが椅子が足りないほどの盛況ぶりでした。川崎の地まで足を運んで頂いた会員の皆さま、本当にありがとうございました。



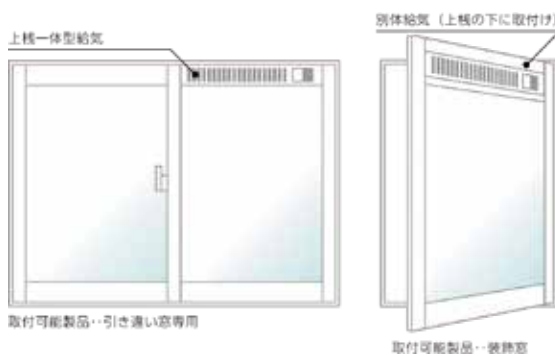
賛助会だより

壁に穴を開けない第三種換気『窓換気システム』のご紹介

株式会社佐原 阿部 圭一郎

株式会社佐原の阿部と申します。この度、神事協の賛助会に入会させて頂きました。何卒宜しくお願い申し上げます。

弊社は岩手県一関市（世界遺産・平泉の近く）に本社・工場が御座いまして、アルミ製自然換気装置の製造販売、また、各住宅サッシメーカーの『換気框』をOEMで製造しております。



換気框（給気プレス）は第三種換気の給気口の代替となるので、壁に穴を開けなくて済みます。

- 『カッコ良く意匠設計をしたのに、壁給気口がデザインの邪魔に…』
- 『数年経つと、外部フードの雨だれで外壁が汚くなってしまう…』
- 『給気口からの漏水が心配だし、断熱材の処理やコーキングのトラブルも心配だ…』

このような問題やお悩み事を解決できます。



換気框は大手ハウスメーカーや全国規模のパワービルダーも採用しております。関東から西のエリアでは定番で、第三種換気の給気方法として換気框が選ばれております。

給気の換気框とは別に排気もサッシ一体型の窓用24時間換気扇が御座います。トイレの窓に段窓するケースが多く、換気框と併せてご採用頂ければ給気も排気もサッシの開口で済む『窓換気システム』となります。



全ての住宅用サッシに設定がある訳では無いのですが、関東エリアでよく使われる定番のサッシには換気框の設定があります。また、一部の防火用サッシにも設定があります。詳しくは各サッシメーカーのカタログをご確認下さい。

ご不明点等が御座いましたら私阿部までご連絡下さい。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

株式会社佐原
〒136 0071 東京都江東区亀戸1-8-8
大樹生命亀戸ビル7F
TEL . 03 5858 8118
阿部mobile : 080 6039 7340

賛助会だより

『2024 住まい創造フェア』開催報告

神事協・神奈川賛助会 会長 中央開発株式会社 西原 聡
 住まい創造フェア 実行委員長 YKK AP株式会社 秋山 宏樹

新型コロナウイルスによる行動制限がなくなり通常の行動ができるようになり、観光需要のV字回復等の追い風もあり、ようやくかつての活気が戻ってきました。

このような状況の中、賛助会主催の『2024住まい創造フェア』が開催されましたのでご報告させていただきます。

●2024 住まい創造フェア報告

『2024 住まい創造フェア』は、まだまだ真夏の暑さが残る9月19日（木）、20日（金）に出展企業18社（昨年は23社）、セミナー開催企業4社（昨年は6社）により「大和シリウス1Fギャラリー（昨年と同会場）」で開催されました。

今回は多くの新製品、新工法、新システム、最新のCAD等をご紹介させていただきました。



来場者は2日間で約50名と昨年とほぼ同数の集客となりました。1日目の夕方に行われた懇親会には、本会から18名、賛助会から25名と多くの方々に参加頂き、大変盛り上がりすると同時に有意義な懇親の場となりました。

今回は1日目の午後に本会理事会、2日目の午後に県央ブロック会議、青年部会運営委員会を大和シリウスで開催して頂き、お蔭様で多くの来場がありました。この場を借りて御礼申し上げます。

いざ大和にご参集あれ!!

最新建築関連総合展示会&セミナー

住まい創造フェア

2024.9.19 木 - 9.20 金

13:00~17:00 10:00~15:00

最新建築技術及び製品・施工例の展示の他、技術セミナーも開催します。
 出展企業とテーマ、セミナー開催企業と内容については裏面を
 ご参照下さい。一般の方も無料でご入場頂けます。

会場 Sirius(大和文化創造拠点シリウス)
 1F 芸術文化ホールギャラリー
 神奈川県大和市大和南1-8-1
 小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅徒歩3分

HP <https://www.sanjo-kai.com/>

お問合せ 神奈川県建築士事務所協会 賛助会HP
 問い合わせ先はこちらよりお願いします。
<https://www.sanjo-kai.com/contact>

QRコード

案内図

主催：(一社)神奈川県建築士事務所協会 賛助会
 後援：(一社)神奈川県建築士事務所協会



『2024住まい創造フェア』展示会場の様子

なお、賛助会の活動をホームページに紹介しています。是非ご覧して下さい。

賛助会ホームページはこちらから

<https://www.sanjo-kai.com/>



今後も神事協を盛り上げて参ります。賛助会をくれぐれも宜しくお願い致します。

『座間しごと展』はじめました

本年度から座間支部で『2024座間しごと展』を9月8日(日)、9日(月)の2日間開催しました。会場は『イオンモール座間1階ノースコート』です。企画立上げにあたり、開催場所をどこにするか。座間支部会員は座間市商工会建設業部会にも所属しており、建設業部会が毎年主催している『建設業フェア』をイオンモール座間に開催しています。支部会員が以前よりイベントに参加しており、しごと展としての内容を建設業部長に説明ご相談の上、会場の一部を利用させていただくことになりました。



イベント会場

イベント内容としては、大きく4項目に分かれます。①住宅相談会としてリフォームや耐震相談など住宅に関するお悩み相談コーナーとして受け付けています。相談内容は多岐にわたり、専門分野ごとに会員で振り分けて対応しています。相談者の多数は《住宅の悩みがあるがどこに相談したらよいのかわからない》ようでした。



相談コーナー

株式会社 エフプランニング 吉田 将也

イベントチラシや座間市の広報誌に掲載されていた情報を元にご来場していただきました。相談内容を聞き出し、業務に繋げることが出来ました。より専門的な相談が受けられるように商工会員の業種別による②事業所紹介ブースも設置しています。ご家族でいらっしゃる方々に向けてお子様に限らず全ての方が無料で参加できる③制作体験コーナーを設けています。この制作体験内容については自由度が高く、会員個々に作品準備を進めて2日間での制作体験回数を競い合っています。



制作体験コーナー

④設計事務所展示コーナーは会員から作品を募り展示しています。来場者全ての方に観ていただけるよう惹き付ける作品展示を次年度の課題として工夫してみます。『しごと展』を通じて市民の方々へ情報提供し交流を深め、頼りになる団体としてより認知度を高めていくことを意識して、これからも支部事業を拡げていきます。



座間支部からの参加者

「ふじさわ建築しごと展2024」を開催

一級建築士事務所 シエラ建築コンサルタント 小笠原 修司

新型コロナも5類に移行され、4年ぶりとなる仕事展を2月3、4日の二日間に渡って開催しました。場所は前回と同じ湘南モールフィルの2階イベントホールです。会場にも恵まれ、約300名の集客がありました。

出展事務所は会員外、他支部を含め20社でした。回数を重ねてきたこともあり、各社プレゼンの質が上がってきたように感じます。



プレゼンの様子

プレゼン以外にも相談コーナーを設けて各社交番制で一般ユーザーの相談を受けました。相談件数は7件で、内5件はリフォーム相談、その他耐震改修工事1件、外構工事1件でした。

今回の仕事展のテーマは「住まいと仕事」と題して、コロナ禍を経て住まいに対する考え方に多様性が生まれている中、住宅における設計事務所の仕事の在り方を再考する場としました。一般ユーザーの方と接していると、住宅に対する知識が豊富になり、省エネや住宅性能についての意識が高くなっていると感じました。また、新築よりも改築のニーズの方が高いようです。

次回のしごと展ではリノベーションをテーマに具体的な提案やセミナーを開催したいと思っています。

次にお子様用のイベントを紹介します。

「3畳ハウスを建てる」は設計工房GAKUの岩間さんが5年前に製作した組み立てハウスで、基本的にはホゾ、ヌキ等の伝統的仕口で作られています。(垂木はビス止め)

子供達が材料を運んで支部のメンバーと一緒に建て方を行います。据え置き式の床板を置い

たら出来上がり。子供達は床の上をぴょんぴょん跳ねて遊びます。夕方解体して、また翌日に備えます。



3畳ハウス立て方中



3畳ハウス上棟後

「くらしのツリー当てスタンプラリー」はマツ、スギ、クリ等5種でできたコースターを会場の中に点在するヒントを元に材種を当てるクイズです。正解率も高く、人気もあり、岩間さんが手塩に掛けたコースター30組150枚は2日目の途中で在庫切れになってしまいました。



木育スタンプラリー答え合わせ中

神奈川県建築会議がリニューアルします！

横須賀支部 有限会社雄設計室 古谷 雄一

神奈川県建築会議をご存知でしょうか？

神奈川県建築会議は、（一社）神奈川県建築士会、（公社）日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会と我々（一社）神奈川県建築士事務所協会の3会が、2006年から情報交換等を目的に集まり、2010年からは正式な会議団体として、その時代の共通する課題について検討をしてきました。

将来を考えると、設計事務所に所属する2～30代の建築士が全国で1.5万人しか居ない現状に対する危機感があります。次世代の担い手が我々の設計業界に入っていない理由はいくつもあると思いますが、建築設計界が一丸となってその根本的な課題に取り組まないと解決しない時期に来ているようです。

建築設計界を神奈川から変えていくために

建築設計界の危機に対応するため、3会の会長・代表等が何度も会合を重ね、今後のために必要なテーマを定め、新たな体制で検討をしていくことになりました。検討していくテーマと目的は下記になります。

テーマ1) 3会で共有する上位の概念について

目的：

- ・3会の共通の概念を共有し、建築設計界の将来の為に3会がまとまって世の中に発信し、設計界を取巻く社会環境を変えていく
- ・建築設計界及び各会の発展のため、お互いの理解を深める
- ・次世代につなぐ、育てる

テーマ2) 資格制度について

目的：

- ・建築家・建築士・建築士事務所の地位向上
- ・実態にあった資格制度の構築
- ・一般の人々（国民、県民、特に若者）に分かりやすい制度の構築

テーマ3) 建築設計界の将来を考える

目的：

- ・建築士、建築家、建築設計事務所各々の未来を考え、発信することで若者への理解を深める

テーマ4) 災害対応について

目的：

- ・県民の安全を守る為に、災害時の有効な対応策を準備する。
- ・災害時には公的機関、地域団体との協働が必要なため、その方法等を準備又は体制を構築する。

テーマ5) 講習会・講演会等の情報共有、共催等について

目的：

- ・各会会員の利便性を高める
- ・運営の効率化を図り、運営負担を軽減する。
- ・各会の会員増強及び会員の研鑽に貢献する。
- ・各会の社会的認知を高める

テーマ1～3は3会会長・代表と各会から推薦された3名以内の幹事で構成する役員会で、テーマ4は新設した防災・災害対応委員会で、テーマ5は同じく新設した情報企画委員会で検討する事になりました。検討した結果を実行し、国民生活に根付いた建築設計界に変えていくことで、永続的な社会貢献ができると思います。どうぞ皆さまのご協力をお願いします。

今年は、神奈川県建築会議と一般社団法人 日本建築学会関東支部神奈川支所の共催で、12月20日に神奈川県民ホールにて山本理顕氏プリツカー賞受賞記念講演会を開催しますので、ぜひ皆様お越しください。

新入会員のご紹介

横浜支部

ナイスユニテック株式会社一級建築士事務所 今泉 隆之
〒230-0051横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1
TEL.045-503-3101/FAX.045-503-3155

宇賀神建築設計工房 宇賀神 洋一
〒232-0007横浜市中区清水ヶ丘32
TEL.045-253-6282/FAX.045-253-6286

退会者

横浜支部

株式会社オーシャンブリーズ一級建築士事務所 助川 正之

川崎支部

合同会社伊藤潤一建築都市設計事務所 伊藤 潤一

県西支部

OCHOUSE設計事務所 駕海 幸司

横浜支部

一級建築士事務所株式会社宇田川建築設計事務所
(所在地・TEL・FAX変更)
〒230-0012横浜市鶴見区下末吉6-6-12-5
TEL.045-575-3056/FAX.045-575-3076

有限会社設計組織スーパーノーヴァ
(所在地変更)
〒226-0013横浜市緑区寺山町89-5-201

伊藤設計一級建築士事務所
(事務所名変更)
旧) 伊藤工務店一級建築士事務所

鎌倉支部

FUDO一級建築士事務所
(所在地変更)
〒248-0007鎌倉市大町3-21-3

賛助会入会者

株式会社佐原

会 勢 令和6年10月1日現在					
支部名	令和6年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	253	256	9	6	3
川 崎	109	110	2	1	1
横 須 賀	48	46	0	2	-2
湘 南 三 浦	17	17	0	0	0
藤 沢	38	36	0	2	-2
鎌 倉	42	41	1	2	-1
茅ヶ崎寒川	14	13	0	1	-1
平 塚	23	23	0	0	0
秦 野	11	11	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大和綾瀬	18	19	1	0	1
厚 木	30	30	0	0	0
座 間	11	11	1	1	0
海 老 名	15	14	0	1	-1
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	63	63	1	1	0
県 西	37	36	1	2	-1
合 計	743	740	16	19	-3
賛助会員	93	99	6	0	6

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき



10月11日北陸新幹線が延伸した福井にて第46回建築士事務所全国大会「未来を拓くまち・ひと・建築」に参加して来ました。爽やかな秋空の中、多少汗ばみながら福井市内フェニックスプラザに到着してみると神奈川会会員も続々と到着しており、前夜から青年話創会、女性交流会に参加されたメンバーが出迎えるといった状況でした。神奈川会の参加者は総勢65名いつもながらに地元を除いて、上位の参加者数でした。

今年は残念ながら、日事連建築賞の受賞は神奈川会より無かったものの、年次功労者表彰は、横浜支部の根岸光司さんが表彰され華を添えました。基調講演は隈研吾氏で世界各国で様々な活動内容の話が興味深かったです。

記念パーティーは会場を移し福井駅前で行われましたが、福井の日本酒も楽しみながら和やかな渾身の場でした。その後参加者も福井の夜に三々五々に散って行き、更に飲み直すグループ、明日のゴルフに備えて早めにホテルに向かう人々と散って行きましたが、多くの参加者の心の片隅には、去年の鳥取・島根大会、今年の福井大会、そして来年の新潟大会と日本海側の開催が続く中、いづれも特産ズワイガニの解禁日1か月前の開催ということではないのかなあと思いつつ帰路についた次第です。



(相模原支部 スタジオアートクリエイター一級建築士事務所 杉本 勝郎)

KANAGAWA 令和6年11月号 (通号453号)

発行 令和6年11月1日 (奇数月1日発行)
発行人 平山 正義
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 小松 正道
担当理事 田中 正幸
会報誌編集特別委員長 小泉 厚
会報誌編集特別副委員長 仙波 弦
会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
戸井田 顕 中原 尚代 杉本 勝郎
長川 勉
事務局 小林 恵美



今月の表紙

宮ヶ瀬湖 鳥居原園地の紅葉

宮ヶ瀬湖の相模原市側の公園、鳥居原園地は四季折々の楽しみがありますが、中でもドウダンツツジの紅葉は圧巻です。楓やモミジの紅葉は下から仰ぎ見ることが多いのですが、ここ鳥居原の紅葉は、眼下に広がり湖面と青空との対比が非常に美しいです。自然の織りなす相模原の景観スポットです。

裏表紙の写真は真夏の鳥居原。濃い緑と青空のコントラストもぜひどうぞ。

(表紙写真・文 杉本勝郎)



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association